

緑化センター みにがんど No.24

紅葉がみごとな

ハナノキ

ハナノキはカエデの仲間で、秋には葉の表の紅と葉裏の白さがきわだつ美しい紅葉を見せてくれます。ハナノキの花は小さなものですが、春には樹冠全体が桃色に染まるほどの花をつけ、秋の紅葉とともにこの樹の魅力のひとつです。

緑化センターには「県木の森」に1本だけ植えてあります。落ち葉は押し葉にしておくと色がさめにくく長い間楽しめます。

アメリカハナノキも、ハナノキに近い種類で葉の形が違いますが、きれいな紅葉と花が楽しめます。



ハナノキ カエデ科

ハナノキは、その自然に生育する地域が、極端に限られている植物のひとつで、恵那山を中心とした半径30kmの岐阜、長野、愛知の3県にまたがる地域と、これより100km北の大町市の居谷里湿地にだけ分布している。

アメリカハナノキは日本のハナノキとは対照的に、北アメリカ東部の北緯50度からフロリダ半島までの広い地域に分布している。これに近いものの化石はグリーンランド、アラスカ、ヨーロッパ、カラフトと広い地域に発見されており、かつてこのグループは北半球に広く分布し、日本のハナノキはその生き残りと見られる。

参考 朝日百科 世界の植物 朝日新聞社



コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス